

穂 学

平成30年度

広州日本人学校学校便り

[No. 8]

平成30年 11月1日(木)

発行責任者 教頭 渡邊美佐子

学習発表会から感じた子どもたちの思いやメッセージ

校長 丸本 亙

11月に入り、気温が下がって秋の気配を感じる頃となりましたが、保護者の皆様は風邪などひかれていませんか。

さて、10月27日の土曜日に、広州日本人学校の2大イベントの一つである学習発表会が行われました。日本人学校の理事の方々やオイスカ幼稚園の先生にも来賓として参観していただきました。保護者の方々も入れ替わりで大変多くの方々が参観され、子どもたちのステージ発表に大きな拍手を送っていただきました。

今年は何の学年の演目からもメッセージを感じ取ることができました。

小学部1年生の音楽劇「おおきなかぶ」は、力を合わせることの大切さや一人ではできないけれど多くの力があれば成し遂げられるということを伝えていたように感じました。

2年生の音楽劇「西遊記」は、明るく元気にをテーマに台詞をしっかり覚えて演じていました。三蔵法師や孫悟空が困っている人たちを助ける場面から、普段の生活の中でも友だちを助けていこうというメッセージが感じられました。合唱も大きな声で歌えていて感心しました。

3年生のダンス劇「イツ・ア・スモールワールド～子どもたちの世界～」は、阿波踊り、サンバのリズム、マオリ族の勝利の踊り、オタ芸、ヒップホップ、少林寺など、世界の踊りを通して、戦争のない平和な世界を心をつなげて創りあげていこうというメッセージだったように思いました。鍵盤ハーモニカの演奏や、浴衣や法被姿がとてもかわいらしかったです。

4年生の音楽劇「ごんぎつね」は、自分たちで創りあげた劇ということでしたが、大変完成されたものになっていました。ごんぎつねと兵十を通して、心を通わせることの難しさと大切さを伝えていたように思いました。「スマイル」の合唱も大変上手でした。

5年生の「ルパンダンス 他」は、音楽と体育の学習の発表ということでした。リコーダーアンサンブルの「星笛」、合唱の「怪獣のバラード」、ルパンダンスを見たり聞いたりしていると、5年生全員が心をつなげて取り組みやり遂げようという気持ちがしっかりと伝わってきました。

6年生の「歴史～そして未来へ～」は、歴史の学習で学んだことを土台として、中国やギリシャの歴史も織り交ぜながら、未来に向かって夢に向かって進んでいこうというメッセージが伝わってきました。再来年開催の東京オリンピック。すぐ目の前に迫ってきていますね。その時、6年生のみなさんはどんな思いで迎えているのでしょうか。リコーダー奏の「花」、合唱の「アクロス ザ ロード」も素敵でした。

中学部の「春夏秋冬～四季を奏でよう～」は、さすが広州日本人学校の中学部という感想を持ちました。1年生の「雪」2年生の「ちいさい秋みつけた」3年生の「夏は来ぬ」そして全員合唱の「春に」は圧巻でした。谷川俊太郎さんの「生きる」という詩の朗読と4曲の合唱を通して、心を込めて、心を一つに、日本語の美しさや日本の四季を表現しようという強い気持ちを伝えた素晴らしい歌声に感動しました。

音楽部の発表「響～FOR YOUR SMILE～」は、「もみじ」「SUN」「ドラえもん」そしてアンコールの「A Whole New World」の4曲でした。新1年生を5名迎えての音楽部。演題にあるように、みんなが笑顔になるように演奏で笑顔を届けたいという願いのこもった素敵な演奏になりました。

学習発表会での発表は、各学年20分くらいの短いものですが、どの学年もこの発表に向けてしっかり計画を立て、多くの時間をかけずに上手にまとめていたことに感心するとともに、年度当初に比べて大きく成長した姿に感動しました。自分の任された立場で精一杯演じたり歌ったり踊ったり奏でたりした全ての子どもたちに大きな拍手を送りたいと思います。それぞれの学年の取組から感じられた思いを大切に、次のステージでさらに輝いてくれることを願っています。

学習発表会 10月27日

